

全会計を黒字で繰越し

平成19年度決算を認定

9月定例会

9月定例会は、9月8日から、18日まで開かれま
した。

今回の定例会（第4回）では、平成19年度一般会
計・各特別会計の決算認定をはじめ、平成20年度一
般会計・特別会計補正予算（9月補正）、神石高原
町立病院の指定管理者指定についてなど27議案が提
出され全て原案どおり可決しました。

また神石高原町議会・会議規則の一部改正、地域
医療を守る意見書が提出されそれぞれ採択しました。
一般質問では、14名の議員が当面する行政課題を
たどしました。

5億8331万円（全会計）の繰越し

9月定例会に提案された平成19
年度各会計決算は、新町として3
年目の通年予算のもとで予算執行
されたものです。

一般会計をはじめとする各会
計の歳入歳出決算の認定について
は、監査委員の意見書をそえて提
案されました。平成19年度の予算
について、適正に執行され、目的
を達成できたかを主眼に慎重に審
議し、本会議にて採決の結果、賛
成多数で各会計の歳入歳出決算を

認定しました。

決算総額は、歳入で167億8、
280万円、歳出で162億7、
449万円となりました。

平成18年度の決算と比べて歳出
で5億7、323万円の減少（▲
3・4％）となっています。歳入
から歳出を差引いた5億831万
円は平成20年度会計へ繰り越され
ました。

各会計の歳入歳出決算の状況
は、別表のとおりです。



平成 19 年度収支決算総括表

単位：万円(四捨五入)

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	101億7,952万円	98億7,616万円	3億335万円
国保特別会計	13億8,164万円	13億2,912万円	5,252万円
老人保健特別会計	25億9,211万円	25億281万円	8,931万円
介護保険特別会計	16億6,500万円	16億2,149万円	4,351万円
簡易水道特別会計	6億7,356万円	6億6,507万円	849万円
飲料水供給特別会計	3,505万円	2,953万円	552万円
農業集落排水特別会計	2億5,588万円	2億5,028万円	560万円
分収育林特別会計	3万円	3万円	0
合計	167億8,280万円	162億7,449万円	5億831万円



監査意見書提出

平成 19 年度決算統計資料より

単位：万円

区分	H17年度	H18年度	H19年度
基準財政需要額	55億3,229万円	55億2,380万円	53億3,225万円
標準財政規模	67億518万円	66億4,580万円	65億2,304万円
財政力指数	0.195	0.211	0.232
経常収支比率	92.6%	94.1%	94.4%
公債費比率	21.2%	22.4%	21.7%
実質公債費比率	19.8%	21.0%	21.6%
地方債現在高	206億1,089万円	196億1,168万円	183億310万円

決算審査報告

審査に付された各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調査並びに財産に関する調査は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係諸帳簿、その他証書類と照合した結果、誤りのないものと認めた。

極めて厳しい財政事情のなかで努力の結果、一般会計及び各特別会計ともに黒字をもって翌年度に引き継がれたことは高く評価する。

反面引き続き緊縮財政運営の中で住民サービスが停滞気味であることは否定できず、この配慮を望むとともに、審査を通じて気付いた次の事項について検討いただき、町政執行に反映されることを望む。

① 井関地域定住団地整備事業について

一大プロジェクト事業であり、住民の

期待と不安を担っている。

元気なまちづくり有責任事業組合との連携を強化し、計画の明確化・進捗率等を随時公表された

② 税等滞納処理について

前年度に比べ微増に留まっており、処理努力を評価する。

しかし、滞納総額は2,400万円であり、滞納者の固定化が見られる中、法的措置で対処されることを切に望む。

③ 各種団体補助金について

多額の不要額を計上している団体が見受けられる。

活動状況、決算書を分析し、適正な補助金の交付を望む。

神石高原町監査委員

岡崎 武志
瀬尾 征爾